

30年度 こどもサポートほっぷ サービス自己評価(事業者)アンケート結果【放課後等デイサービス】

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか		○		PDCAサイクルにそってではないが、目標設定と振り返りを行い個別のケース会議を実施。必要に応じて関係機関と連携しながら行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページなどで公開しているか	○			平成30年度にホームページが開設され、自己評価の結果を公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
	9	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			年に3回の面談がすべてのご家族、本人と持てるように予定を立て、実施している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめこまやかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			その日のスケジュールをホワイトボードに毎日書き出しておく担当者を配置し、短い時間でも打ち合わせを持つようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか		○		スケジュールによりばらつきは出てしまうことはあるが、振り返りを行い、意見を交換する時間を作るようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			今年度より、記入のフォームを変更。記録を電子化し、情報を職員間で共有できるようにしている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				
関係 機関 や 保護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こども下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	22	医療的なケアが必要な子どもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか				該当なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供する等しているか	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		今後、行事等への参加や共同開催等を検討する。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	28 日頃からこどもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		送迎時に引継ぎを行うなどして対応しているが、利用者によって子どもの状況を伝い合う頻度が高い方と低い方がある。今後は定期的な面談を計画する。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか		○		
保護者への説明責任等	30 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			支援計画書の説明時に、運営規定についても併せて説明を行う。
	31 保護者の子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者同士の交流を目的とした行事や勉強会は年3回行っている。父母の会の立ち上げ等について相談を受けた場合には支援していくことを検討する。
	33 子どもの保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		契約時に苦情の受付について記載されている、重要事項説明書を用いて説明を行っている。職員に直接伝えにくい場合は、第三委員会も設置しており、連絡先は玄関に掲示している。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			H30年度より開設しているブログの利用や定期的なお便りの発行を行い、発信している。。
	35 個人情報に十分注意しているか	○			
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルについてはすでに策定。数ページにわたる冊子となっているため、簡易版を作成し、周知する。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回避難訓練を実施。そのうち1回は火災を想定し、そのうち1回は自然災害を想定したもを行っている。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うのかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				該当なし。 身体拘束が必要とされる方の利用がない。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				該当なし。 利用されている方の食物アレルギーについては、把握。今後は医師の指示書が必要なケースの利用があれば、医師の指示を仰げるよう保護者を通して調整する。
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				